

市川市におけるグリーン購入の推進

平成22年度取り組み結果報告書

平成23年7月

市川市 環境清掃部 環境政策課

市川市におけるグリーン購入の取り組み

[経緯]

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会は豊かで便利な生活を造りあげましたが、一方で温室効果ガスによる地球温暖化など深刻な環境問題をもたらしています。こうした問題に対応していくには、従来型の社会システムから物質循環を基調として資源循環型に変え、持続的発展が可能な社会を構築していく必要があります。

そこで、市川市では自らが事業者であり消費者であるとの立場から、環境に配慮した行動を実践していくために「市川市地球温暖化対策実行計画」を策定し、省エネルギー・省資源への取組を推進しています。

この取組の一つとしてグリーン購入を全庁的に推進するため、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の制定を受け、指針及び各年度の市川市役所調達方針を策定し、対象品目や品目毎の目標値を定め取り組んでいます。

グリーン購入とは

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

1. 平成 22 年度 市川市役所調達方針

紙類や文具類をはじめ、オフィス家具やOA機器など19分類249品目を調達推進品目と定め、調達する全ての商品をグリーン購入適合品とすることを目指し、取り組みました（調達目標100%）。

供給環境等を考慮して平成21年度まで調達目標を80%としていた「防災備蓄用品」及び「公共工事」の2分類についても、調達目標を100%としました。

2. 調達実績

(1) 分類別達成実績

全分類の平均調達率は93.5%で、概ね目標を達成しました。

購入実績のあった18分類のうち16分類で80%を超える調達率となっており、商品の種類(品目)は230品目に及びます。これは全体の95%を占め、多くの商品においてグリーン購入が行き届いていることがうかがえます。

一方、残念ながら、十分な取組結果とはならなかった分類に「インテリア・寝装寝具」と「その他繊維製品」が挙げられます。

「インテリア・寝装寝具」において購入した品目は「カーテン」で、「その他繊維製品」において購入した品目は「ブルーシート」です。いずれも、事業の緊急性を優先したために、グリーン購入適合品を購入できなかったものです。

分類別調達率

分類番号	分類名	商品例	品目数	調達率(%)
01	紙類	コピー用紙、ティッシュペーパー等	7	95.8
02	文具類	シャープペンシル、のり等	82	94.3
03	オフィス家具等	いす、机、ホワイトボード等	10	90.9
04	OA機器	コピー機、複合機等	17	88.9
05	移動電話	携帯電話、PHS	2	100.0
06	家電製品	冷蔵庫、テレビ等	6	99.7
07	エアコンディショナー等	エアコンディショナー、ストーブ等	3	100.0
08	温水器等	電気給湯器、ガス温水機器等	4	100.0
09	照明	蛍光灯照明器具、ランプ等	5	94.3
10	自動車等	自動車、タイヤ、エンジン油等	5	100.0
11	消火器	消火器	1	100.0
12	制服・作業服	制服・作業服	2	100.0
13	インテリア・寝装寝具	カーテン、ベッド、毛布等	10	75.0
14	作業手袋	作業手袋	1	83.0
15	その他繊維製品	テント、シート、	3	70.0
16	設備	太陽光発電システム等	6	購入なし
17	防災備蓄用品	ペットボトル飲料水、アルファ化米等	11	100.0
18	公共工事	エコセメント等	62	92.9
19	役務	印刷、自動車整備等	12	98.3
平均調達率				93.5

(2) 分野別年度比較

平均調達率は平成18年度からの過去5年間において、継続して80%を超える高い水準が維持されており、安定した取り組みがなされている結果と考えられます。平成22年度は、過去5年間で最も高い調達率となりました。

供給環境等を考慮して平成21年度まで調達目標を80%としていた「防災備蓄用品」及び「公共工事」の2分類についても、「防災備蓄用品」が100%、「公共工事」が92.9%と、十分な取り組み結果となりました。

調達率の推移

分類	分類名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
1	紙類	86.9	99.3	90.3	91.6	95.8
2	文具類	87.8	99.7	92.6	91.0	94.3
3	オフィス家具	-	-	98.5	82.8	90.9
4	OA機器	78.6	95.1	87.5	81.1	88.9
5	移動電話	-	-	-	-	100.0
6	家電製品	100.0	100.0	97.4	100.0	99.7
7	エアコン・ショナー等	100.0	100.0	50.0	75.0	100.0
8	温水器等	100.0	100.0	-	88.9	100.0
9	照明	90.0	95.7	93.9	72.5	94.3
10	自動車等	100.0	100.0	47.2	58.3	100.0
11	消火器	74.7	91.7	100.0	79.4	100.0
12	制服・作業服	80.0	98.1	94.0	76.4	100.0
13	インテリア・寝装寝具	66.7	96.8	99.8	80.2	75.0
14	作業用手袋	61.2	49.4	96.6	61.2	83.0
15	その他繊維製品	99.9	100.0	96.7	100.0	70.0
16	設備	-	-	-	100.0	-
17	防災備蓄用品	-	-	-	66.7	100.0
18	公共工事	-	-	-	73.3	92.9
19	役務	96.2	76.2	99.3	86.8	98.3
	平均調達率	87.3	93.0	88.9	81.4	93.5

[考 察]

平成 13 年度から導入されたグリーン購入に対する取り組みですが、10 年目となる平成 22 年度まで、安定して高い調達率が維持されてきました。これは、従来からの商品だけでなく、毎年度拡大される対象商品に対しても十分に取り組むことができた結果と思われる。

平成 22 年度の取り組み結果は平成 21 年度に比べて、大きく改善しました。その主な理由としては、平成 21 年度の調達率が 80% を下回った所属に対し、グリーン購入ができなかった理由と改善のための今後の対応について文書の提出を求めたことが影響したものと考えられます。このことにより、調達率を引き下げている品目と調達できなかった理由が改めて明確になり、個々の品目に適した、より具体的な対策が講じられたためと思われる。

全体としては概ね目標を達成できたと言えますが、「インテリア・寝装寝具」と「その他繊維製品」は、調達率が 80% を下回る結果となりました。これらの品目のグリーン購入ができなかった理由は、いずれも、事業の緊急性を優先したために、既存の購入ルート（業者）での入手ができなかったことが理由として挙げられております。

これらについては、今後、緊急時も見据えた業者の選択を検討するなど、該当所属に対して働きかけを行い、より一層の取り組みの充実を図ってまいります。